

特殊詐欺の発生状況（平成29年5月末） ～息子を名乗るオレオレ詐欺事件が連続発生！～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（5月末現在）

- 被害認知件数は**41件**（前年同期比－9件）
- 被害総額は**約1億6万円**（前年同期比＋約2,167万円）
- 被害者の**約73%**が65歳以上の高齢者

2 5月中の認知状況

- 被害認知件数は**8件**（前年同月比－3件）
- 被害総額は**約884万円**（前年同月比－約1,866万円）
- 手口は
 - ・オレオレ詐欺 3件
 - ・架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目） 2件
 - ・還付金（払戻金）詐欺 3件

3 県内の特殊詐欺の傾向（5月中）

- **オレオレ詐欺（妊娠示談金名目）が連続発生**

犯人は、被害者の息子を名乗って複数回にわたって被害者方に電話し、「夫がいる女性を妊娠させてしまい、ご主人にバレて裁判を起こすと言われた。」「示談をするために弁護士費用が必要だ。」などとうそを言い、これを信じた被害者に、指定した金融機関の口座へ現金を振り込ませたものであり、同様の手口のオレオレ詐欺（妊娠示談金名目）が連続して発生しました。

～被害者の年齢・性別構成～

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

	平成29年5月末現在		
	男性	女性	計
～ 19	－	－	－
20 ～ 29	－	1	1
30 ～ 39	2	1	3
40 ～ 49	2	－	2
50 ～ 59	1	3	4
60 ～ 64	－	1	1
65 ～ 69	1	6	7
70 ～ 79	3	15	18
80 ～ 89	1	4	5
90 ～	－	－	－
合計	10	31	41
内65歳以上の高齢者	5	25	30

	平成29年5月末現在 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	29
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	2
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	2
電子マネー型	7
キャッシュカード受取型	1
合計	41